

2020年後期 観測実施要項

2020年後期の注意事項

今期もせいめい望遠鏡の立ち上げ期にあたるため、望遠鏡自身がリスクシェアでの公開となります。従って望遠鏡や観測装置の状況次第では観測割り当てがキャンセルされる可能性があること、割り当て時期に偏りが生じる可能性があること、をあらかじめご承知おき下さい。望遠鏡のトラブルで観測がキャンセルになった場合には、可能な範囲で補填されます。

1. 「クラシカル観測」実施要項

クラシカル観測とは通常の観測を指し、具体的には以下の観測となります。

- クラシカル観測は、事前のプロポーザル提出に基づく事前申請型とする。
- 研究課題の採否は京大内 TAC で定める。
- 採択された研究課題には京大内 TAC において予め観測日時を割り当てる。
- 岡山天文台は、採択されたクラシカル観測課題に割り当てた観測日時を岡山天文台ホームページに掲載する。
- 観測作業は観測提案者もしくは共同研究者らが行う。
- ToO 観測が申請された場合は、観測する権限が ToO 観測の申請者に移行する。
- ToO の観測者から依頼された場合には、クラシカル観測の観測者が ToO の観測作業を代行する。
- ToO 観測はクラシカル観測より優先される^{※1}。
 - ToO 観測課題には優先順位(上から SS, S, A, B, C)が割り振られており、ToO 観測中に上位の ToO 観測が申請された場合には観測する権限がそちらに移行する。
 - 優先順位が等しい ToO 観測課題の場合は既に実行中の観測を継続する。
- ToO 観測によって実施権限を奪われたクラシカル観測の時間は可能な範囲で補填される。ただし補填された時間が再び ToO 観測により失われた場合の再補填は行わない。
- ToO の観測実行者は論文の共著者になる権利を得る。

※1 タイムクリティカルな現象など補填が困難な観測に対しては ToO をかけられないクラシカル観測枠を設ける可能性がある。

2. 「ToO 観測」実施要項

ToO 観測とは突発天体など、申請時点では観測日時が定まらない現象に対応するための観測で、具体的には以下の観測となります。

- ToO 観測は、原則として事前のプロポーザル提出に基づく事前申請型とする。
- 研究課題の採否は京大内 TAC で定める。
- 採択された研究課題には京大内 TAC において観測時間数と優先順位(上から SS, S, A, B, C)を割り当てる^{※2}。
- 申請者は事前準備として、京大時間開始（または、申請者が希望している観測期間開始）の1週間前までに観測手順書を岡山天文台に提出する。
- 岡山天文台は、採択された ToO 観測課題の観測時間数と優先順位を岡山天文台ホームページに掲載する。また、提出された観測手順書も同ホームページに掲載する。
- ToO 観測はクラシカル観測より優先される^{※1}。
- ToO 観測は、割り当てられた観測時間数の中で、以下の範囲において任意のタイミングで観測する権限を取得できる。
 - 京大時間、もしくは天文台時間であること（共同利用観測時間は不可）。
 - 自身の優先順位と同等以上の ToO 観測を実行中でないこと。
- 一度発動した ToO を取り下げることができない。
- 観測作業は現地観測者（クラシカル観測者等）に依頼することができるが、不在の場合は提案者の責任で観測を行う^{※3}。
- 上位の ToO 観測によって実施権限を奪われた観測時間は、消費されなかったものとして観測時間数に戻される。
- 観測を現地観測者に依頼する場合、観測実行者には論文の共著者になる権利が発生する。

※2 ToO 観測より優先度の高い観測を設定する可能性は否定しない。例外的に岡山天文台の責任者（現在は長田、木野）の判断で公募を通さない ToO 観測を行う可能性もあり得る（事前に ToO 申請がないが、ベテルギウスが爆発したというような場合）。

※3 今期は望遠鏡の立ち上げ期にあたるため、当該観測夜の観測者が操作に不慣れなことが予想される。そのため、観測の確実な遂行のためには、観測実施体制をあらかじめ十分に検討の上、申請することを強く推奨する。